

平成28年度 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金

## 事業報告会資料



# 平成28年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金

## 事業報告会

平成29年4月29日(土)

午後1時～4時

亀岡市役所1階 市民ホール

1	開場	13時00分
2	開会・あいさつ	13時30分
3	支えあいまちづくり協働支援金についての概要説明	13時35分
4	事業報告	
	(1) 亀岡全国ふるさと連合会	13時40分
	(2) 重利の山を守る会	13時50分
	(3) 先憂後楽みらい会	14時00分
	(4) 亀岡市遺族会女性部	14時10分
	(5) 自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会	14時20分
5	意見交換(10分間)	14時30分
6	休憩(15分間)	
7	事業報告	
	(6) 京都・丹波/亀岡 市民まちづくり風の会	14時55分
	(7) NPO法人みんなのネットワーク	15時05分
	(8) NPO法人チョロギ村	15時15分
	(9) アユモドキの保全と京都サンガの応援事業実行委員会	15時25分
	(10) NPO法人プロジェクト保津川	15時35分
8	意見交流(10分間)	15時45分
9	あいさつ	16時55分
10	閉会	16時00分

質疑応答の時間は各団体の報告終了時にそれぞれ行う。(報告時間5分+質疑応答5分)



S 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付決定事業実績報告一覧

団体名 (代表者名)	決算額 (円)	交付決定額 (円)	事業名	事業内容	事業効果 (成果と効果)	実施期間	実施場所	参加人数	備考
NPO法人み んなのネット ワーク	341,381円	100,000円	市民活動推進 フォーラム等の実 施	①NPO基礎講座 FNPO x ソーシャルビジネス」 ②市民活動推進フォーラム 「協働を進める市民活動」 ③各種相談会の開催	「協働」が深 まってきた。また、市民活 動、行政、学校、市議 など、異なる組織間で の連携を促進するまっ かけを作られた。	平成28年4月1日～平 成29年2月17日	ガレリアかめおか	①NPO基礎講座20 名 ②市民活動推進 フォーラム60名 ③相談会(計7回) 100名	
先憂後業みら い会	313,750円	160,000円	みらいのむらとま ちづくりプロジェクト	①月例勉強会 ②シンポジウム 「オーソライア先住民アボリジ ニに学ぶ水の循環と心の生態 系」	高齢化や少子化など の現代の課題に関し た交流を深めることが できた。シンポジウム では、地域の自治体、 共有林森林組合など と水質保全や災害対 策活動において有効 的なつながりが創出で きた。	平成28年4月1日～平 成29年3月31日	亀岡市立人権福祉セ ンター、亀岡市天川児童 館	①月例勉強会(全9 回)114名 ②シンポジウム46 名	
重利の山を 守る会	463,674円	160,000円	森林の保全と町 の活性化	山林を整備して子どもが活動 できるようし、地域の子ども や大人が一緒に活動して自然 などを伝える。その場所を利用し て、子どもを中心とした地域住 民の交流の場づくりを進める。	様々な強みを持った 地域住民の力を合わ せて、山の整備がで きた。また、整備した場 が住民の交流の場 に発展したとともに、山を 整備することで自然災 害の対策にもなった。	平成28年4月1日～平 成29年3月31日	曾我部町重利近隣の山林	参加人数202名(年 間)	
亀岡全国ふる さと連合会	385,403円	139,000円	H28年度亀岡全 国ふるさと連祭り	市在住のふるさと市民、市外 にいる亀岡市出身者、さらに亀 岡市民との交流・絆づくりに向 けて、コミュニケーションの場 づくりに取り組む。	茶会では、同郷の人 たちでふるさとの想い を語りつづけてもらい絆を深 めることができた。講 演では、高齢化する限 界集落の課題や人の 交流による地域の活 性化の現状を知らせ ることができた。	平成28年4月1日～平 成28年10月30日	ガレリアかめおか	・会員数236名(昨 年より70人増加) ・参加者数130名	
亀岡市遺族会 女性部	100,010円	100,000円	戦後70年平和の 尊厳折返し千羽鶴 おりとDVD制作	・DVDの製作 ・各町自治会、遺族会及び市 内公立小中学校へのDVD寄 贈 ・出前上映会・講演会(遺族品 の展示も含む)	戦後71年が経ち遺族 家族でさえ、戦争の記 憶が風化されつつあ るなか、DVDの製作、 上映を通して、平和の 尊厳を改めて認識する ことができた。	平成28年4月1日～平 成29年3月31日	ルビノ京都堀川、かめおか 市民活動推進センター、自 治会事務所(曾我部、千歳 等)、京都府遺族会館	・上映会参加者(全 6回)190名	
自然豊かな亀 岡の未来をつ なぐ地域協議 会	132,164円	130,000円	地域の資源再発 見～おらがまち、 むらのすこいこ ろ大発見～	中山間地の地域活性化を目指 す ・自然豊かな亀岡の未来をつ なぐ地域協議会、おらがまち、 むらのすこいところ大発見	様々な地域での取り 組みを報告してもらい 地域づくりの重要なこ とや、自分たちの地域 の実情に併せて活動 を進めていくことが大 きく学ばれた。	平成28年7月10日～ 平成29年5月18日	第三かめおか作業所、亀 岡市立人権福祉センター、 保津文化センター	・フォーラム35名 ・連続企画(全5回) 149名	

S 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付決定事業実績報告一覧

団体名 (代表者名)	決算額 (円)	交付決定額 (円)	事業名	事業内容	事業効果 (成果等列挙)	実施期間	実施場所	参加人数	備考
京都・丹波/亀岡市民まちづくり風の会	238,518円	188,018円	寺子屋プロジェクト	寺子屋カフェ～亀岡の地域課題を考える学び舎～ ・情報紙「WINDレポート」まちづくり亀岡」の発行	様々なテーマを設定することで幅広い年齢層の方に参加してもらえた。一部講座では、市職員とも意見交流をを通して、まちづくりをともに考えることができた。	平成28年5月25日～ 平成29年3月24日	亀岡市内の寺院	参加者数101名(講座全5回)	
アユモトキの保全と京都サンガの応援事業	350,672円	350,000円	アユモトキの保全と京都サンガの応援事業	・ロゴマークの愛称を募集してシール作成 ・シールの亀岡商工会議所指定の特産品へ添付や、亀岡経済同友会やJC(亀岡青年会議所)等と連携したロゴの普及活動 ・行政機関の文書や封書への添付、協力団体の車両への添付協力の要請	京都新聞などのメディア、WEB、シールの配布を通して京都サンガの応援とアユモトキの親善への期待や価値観を高めることができた。行政と連携することで事業の効果を広く広めることができた。	平成28年5月10日～ 平成29年3月31日	亀岡市内各所	ロゴマークの愛称募集74件※京都府外からも多くの公募あり	
NPO法人チヨロギ村	518,824円	500,000円	砥石による都会の人との交流事業	・砥石の探検坑などを巡る「ちい旅」のための砥石探検坑跡や加工場跡の現地調査と標識や看板の設置 ・ちい旅の試験実施 ・砥石に関する写真パネルや探検道具等の展示	日本でも有数の砥石の産地であることを本来に伝えるための展示ができた。砥石マップや標識が作成でき、都会の人との交流ツールができた。	平成28年7月8日～平成29年3月31日	亀岡市宮前町神前地内	展示オープンニングイベント:約2千人	
NPO法人プロジェクト俊津川	1,122,401円	500,000円	みんなで調べて学ぶ亀岡の自然と文化	・ツバメ調査 ・しぶん未来塾	若者を中心に地域の自然資源の価値を確認し、その保全策や地活用の議論ができた。2団体で活動したことによって、これまでも異なる参加者層をそれぞれ開拓することができた。	平成28年4月1日～平成29年3月31日	亀岡市内全域及び担当団体事務所	未来塾(全18回)143名	

市民連携事業

亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付事業収支決算一覧

単位(円)

団体名	NPO法人みんなのネットワーク		先憂後楽みらい会		重利の山を守る会		
	項目	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	協働支援金	100,000	100,000	160,000	160,000	160,000	160,000
	自己資金		41,381	149,000	153,750	20,000	73,674
	事業収入等					30,000	
	他の補助金	200,000	200,000			300,000	230,000
	寄付金						
	その他						
	合計	300,000	341,381	309,000	313,750	510,000	463,674
支出(対象経費)	報償費	90,000	119,000	50,000	50,000	30,000	1,000
	火件費						
	旅費・交通費	46,000	32,680	12,500	14,500	10,000	
	消耗品費・備品	31,000	25,411	5,000	6,572	415,000	435,014
	印刷製本費		100,000	139,000	145,454		
	通信運搬費	24,000	56,562				
	保険料					30,000	18,948
	使用料及び賃借料	5,000	4,536	10,000			
	飲食費	4,000	3,192				
	資料代・図書代						
	手数料						
	広告宣伝費	100,000					
	委託料						
	役員費						
	間接経費						
計	300,000	341,381	216,500	216,526	485,000	454,962	
支出(対象外経費)			92,500	97,224	25,000	8,712	
合計	300,000	341,381	309,000	313,750	510,000	463,674	

単位(円)

	団体名	亀岡全国ふるさと連合会		亀岡市遺族会女性部		自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会	
	項目	予算	決算	予算	決算	予算	決算
取 入	協働支援金	150,000	139,000	100,000	100,000	130,000	130,000
	自己資金	32,108	403	1,000	10		2,164
	事業収入等						
	他の補助金	258,000	246,000			300,000	
	寄付金						
	その他						
	合計	440,108	385,403	101,000	100,010	430,000	132,164
支 出 (対象経費)	報償費	97,000	107,000	15,000	10,000	51,400	102,200
	火件費						
	旅費・交通費	1,600	1,412	18,000	23,000		
	消耗品費・備品	18,500	57,827	10,000	16,130	23,600	7,065
	印刷製本費		131,569	3,000	160		
	通信運搬費	26,800	23,080	1,000	720	15,000	18,719
	保険料	30,000					
	使用料及び賃借料	67,608	50,706	3,000		20,000	4,180
	飲食費						
	資料代・図書代						
	手数料						
	広告宣伝費	148,600	0			20,000	
	委託料			50,000	50,000		
	役員費						
	間接経費						
計	390,108	371,594	100,000	100,010	130,000	132,164	
支出(対象外経費)	50,000	13,809	1,000		300,000		
合計	440,108	385,403	101,000	100,010	430,000	132,164	



単位(円)

団体名	項目	京都・丹波/亀岡市民まちづくり風の会		アユモドキの保全と京都サンガの応援事業実行委員会		NPO法人チョロギ村	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	協働支援金	200,000	188,018	350,000	350,000	500,000	500,000
	自己資金	25,000		844	672		18,824
	事業収入等	75,000	50,500			20,000	
	他の補助金						
	寄付金						
	その他						
	合計	300,000	238,518	350,844	350,672	520,000	518,824
支出(対象経費)	報償費	110,000	100,000			99,000	80,000
	人件費						
	旅費・交通費	5,000	27,500	8,940	11,140		
	消耗品費・備品	30,000	11,234	7,000	4,628	220,000	135,784
	印刷製本費	85,000	17,267	148,176	148,176	200,000	203,040
	通信運搬費	10,000	25,106				
	保険料	10,000	7,850				
	使用料及び賃借料	30,000	30,000	30,000	30,000		
	飲食費		7,497				
	資料代・図書代	10,000					
	手数料						
	広告宣伝費			136,728	136,728		
	委託料			20,000	20,000		100,000
	役員費						
	間接経費					1,000	
計	290,000	226,454	350,844	350,672	520,000	518,824	
支出(対象外経費)	5,000	12,064					
合計	295,000	238,518	350,844	350,672	520,000	518,824	

	団体名	NPO法人プロジェクト保津川	
	項目	予算	決算
収入	協同支援金	500,000	500,000
	自己資金	485,098	98,677
	事業収入等	160,000	102,500
	他の補助金	500,000	421,224
	寄付金		
	その他		
	合計	1,645,098	1,122,401
支出(対象経費)	報償費	198,378	351,346
	人件費	691,200	298,334
	旅費・交通費	113,800	53,921
	消耗品費・備品	33,500	45,565
	印刷製本費	183,000	132,335
	通信運搬費	10,000	2,872
	保険料	7,500	
	使用料及び賃借料	72,000	
	飲食費	7,200	
	資料代・図書代		
	手数料	3,000	540
	広告宣伝費	60,000	57,830
	委託料	225,520	65,000
	役員費		
	間接経費	40,000	50,000
計	1,645,098	1,057,743	
支出(対象外経費)		64,658	
合計	1,645,098	1,122,401	

# 平成28年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金 計画書・報告書 一覧

- P 1 ~ 4 亀岡全国ふるさと連合会  
「H28年度 第2回亀岡全国ふるさと連まつり」
- P 5 ~ 8 重利の山を守る会  
「森林の保全と町の活性化」
- P 9 ~ 16 先憂後楽みらい会  
「みらいのむらとまちづくりプロジェクト」
- P 17 ~ 22 亀岡市遺族会女性部  
「戦後70年 平和の尊さ祈念し千羽鶴おりとDVD制作」
- P 23 ~ 28 自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会  
「地域の資源再発見～おらがまち・むらのすごいところ大発見～」
- P 29 ~ 36 京都・丹波/亀岡 市民まちづくり風の会  
「寺子屋プロジェクト」
- P 37 ~ 42 NPO法人みんなのネットワーク  
「市民活動推進フォーラム等の実施」
- P 43 ~ 48 NPO法人チョロギ村  
「砥石による都会の人との交流事業」
- P 49 ~ 54 アユモドキの保全と京都サンガの応援事業実行委員会  
「アユモドキの保全と京都サンガの応援事業」
- P 55 ~ 64 NPO法人プロジェクト保津川  
「みんなで調べて学ぶ、亀岡の自然と文化」



# 事業報告書

団体名: 亀岡全国ふるさと連合会

1. メニュー名	(1) スタート事業 (2) <b>ステップアップ事業</b> (3) 市民連携事業
2. 事業名	H28 亀岡全国ふるさと連祭り
3. 実施場所	ガレリアかめおか
4. 実施期間	平成28年4月1日～平成28年度10月30日
5. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、情報など)

日時: 10月30日(日) PM13:30～16:00

場所: ガレリアかめおか 2F大広間

参加者数: 130人

実施内容: H28年度亀岡全国ふるさと連祭り

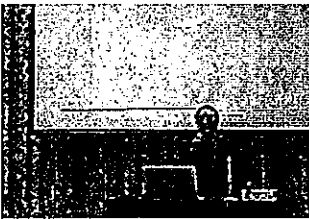


① 事前活動として、4月16日～17日ガレリアかめおかにて、「2016年花と緑のフェスティバル」2Fふるさと百景の会場の一部にて、亀岡全国ふるさと連祭りのPRを兼ねて会員募集 & 熊本地震の災害募金活動も実施する。京都社社会福祉事業団に届けました(募金金額は8万2,692円)

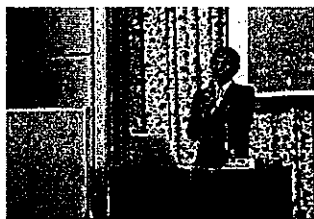
② 第2回亀岡全国ふるさと連祭り

- 1・坂本会長より開会の挨拶
- 2・桂川亀岡市長よりミニ講演
- 3・高田 成 篠ファーム社長講演「ふるさとおすそ分け事業」を語る
- 4・石見神楽(島根県郷土芸能) 京都瓜生山舞子連中(京都造芸芸術大学内サークル)
- 5・茶話会(同郷及び地域別に交流)

※前回(2015年11月23日)の反省から、同郷とする会員との交流時間(コミュニケーション)の場を設定



坂本会長の開会の挨拶



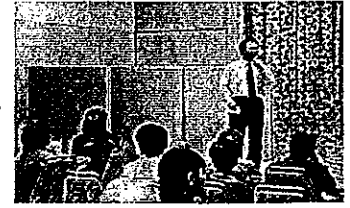
桂川亀岡市長ミニ講演



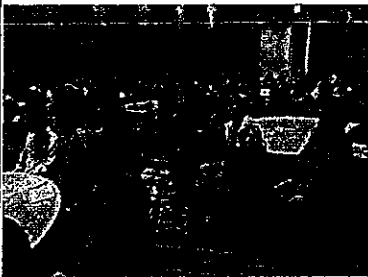
高田成篠ファーム社長講演



石見神楽(島根県郷土芸能)



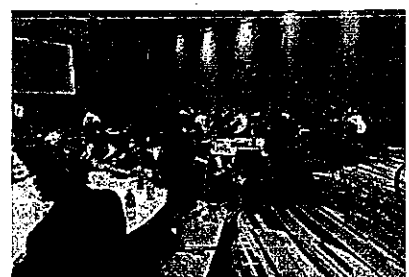
田中副会長(茶話会開始の挨拶)



会場内風景



茶話会風景



茶話会風景

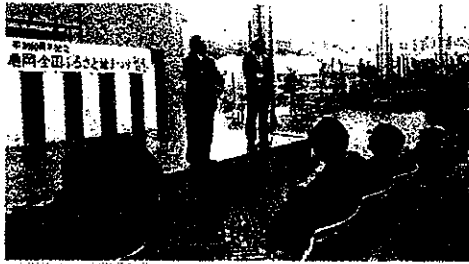
6、成果	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成長を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>2015年11月23日に第1回亀岡全国ふるさと連合会の立ち上げ(創立)も含めて、多くの市民にご理解して頂きました。前回166名の会員数が、今回236名と70名/年間の増加を見る事が出来ました。限られた広報の中で効果が得られたと思います。新しいコミュニケーションの場(ふるさと共有)として立ち上げ、前回の反省から今回「茶話会」をメインとして会場には、各地域別のテーブルを設置しました。同郷の人しかできない話題もあり、どこか懐かしかった等、各自のふるさと想いを語ってもらい、絆づくりを進める事が出来ました。高齢化する課題の中で、桂川亀岡市長のミニ講演はこれからの亀岡市の課題に取り組む姿勢として「安心、安全のまちづくりこそ最大の福祉」から「住続けたい町づくり」など、亀岡市民として大変意義深いものでした。篠ファーム代表取締役の高田成様には、「ふるさと野菜のおすそ分け」をテーマに講演して頂きました。高齢化する限界村から、物(ふるさと野菜)の交流から人と人との交流により地域活性化への現状と課題を垣間見ることができました。さらに、ふるさとを身近に感じて頂くイベントとして、今回は島根県の郷土芸能でもある「石見神楽」を京都造形芸術大学の学生グループにより演舞していただきました。事前に問い合わせ等も多くありましたが、会場の関係から150名の予定のところ110名ぐらいしか椅子の設置が出来ないとの事でしたので、当日の追加10席に加えて約10名ぐらいの方がドア入口に立ち見で見て頂きました(全体で130名)。</p>	
<p>添付資料 ①事業風景写真          ②会員様への送付資料(案内状&amp;チラシ)          ③翌日の新聞記事          ④2016年花と緑のフェスティバル活動資料(会員様への案内状、PR用資料、アンケート用紙・記事)          ⑤会員調査結果&amp;今回の参加及び新規登録資料</p>	
7、協働の効果	<p>事業実施にあたって、他団体等と協働で実施された場合は、実施の効果や今後に向けての課題について、具体例などを交えながら具体的に記入してください。          ※市民連携事業に関わらず、他団体との協働があった場合は記入してください。</p>
8、今後の展開	<p>事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。</p>
<p>計画時の目標</p> <p>①各県人会の結成及び地域連合の形を整え、次のステップとしての自立と継続性を確立したい。</p> <p>②かめおか全国ふるさと連合会は、地方再生に向けて亀岡の発展に少しでも参画し、貢献できる組織となることを目指します。</p>	<p>※今後の展開へ</p> <p>今回の茶話会では地域のテーブル毎にふるさと連合会の役員(地域別選出)を選任して進行に協力して頂いた。これを踏まえてブロック別の取組から県別へのステップとして自立を進めていきたい。</p> <p>個別・具体的なふるさと情報は会員の中からも適宜、収集できるので、折につけてこれをふるさと創生課などに伝えてゆきたい。また、交流人口の増大や移住の促進についても積極的に提言してまいりたい。</p>
<p>総括</p> <p>発足2年目の活動として、開催日に多様なプログラムを盛り込んで実施したが、それぞれに意義深いものであった。他方、限られた時間内で盛りたくさんのプログラムを実施したことで、交流そして絆づくりの面でやや物足りない展開になったことも否めない。年1回に限った事業の展開のあり方、そして団体としての自立した組織基盤づくりなど今後の課題としています。</p>	

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

# いきいき ネットワーク かめおか市民活動推進センター登録団体を紹介 亀岡全国ふるさと連合会

(亀岡全国ふるさと連合会会長 坂本信雄)



亀岡市内に暮らす市外出身者  
同士の新しい交流の機会を作ろ  
うと広島県人会の呼びかけによ  
り、会員募集を行ってきました  
が、平成27年11月23日開催され  
た市制60周年記念式典に併せて  
設立総会を開催しました。当日  
は餅つき大会を行うなど、総会  
出席者のみならず記念行事で亀  
岡市を訪問中の姉妹都市の関係  
者からも大いなる好評を頂きま  
した。その後、今年4月15日か  
ら16日にかけてガレリアにて会  
員募集を行う傍ら熊本地震への  
義援金を募り、これを京都新聞  
社社会福祉事業団に届けました  
(募金額は8万2,692円)。  
今後も亀岡出身者を含むふるさ  
と市民との交流なども含めて同  
郷の絆や亀岡とのつながりを強  
めたいと思っています。現在登  
録者数は234名ですが、随時  
会員を募集しています。

## 「亀岡ふるさとの集い」

2016年10月30日(日) 13時半～16時

ミニ講演：桂川亀岡市長 / 演舞：岩見神楽(京都造形芸術大学生グループ)

ふるさとおすそ分け事業を語る：高田 成 氏(篠ファーム社長)

ふるさと茶話会：私のふるさと・貴方のふるさと

ガレリアかめおか大広間：何方も参加できます

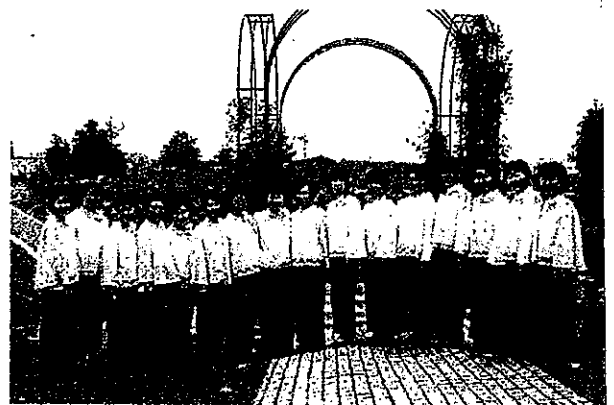
(問合せ先：茶木 事務局長：携帯 090-8933-3187)

# 元気はつらつ

サークルやスポーツスクールなどステキな活動を紹介

かめおかテレーノ・トノ・アンサンブル

活動日 土曜日 活動場所 ガレリアかめおか研修室



この曲は何を伝えたいのか？情景が  
えますか？音を合わせましょう！...と  
カリナの練習をしています。私たちは、  
レリアかめおか オープン時に結成し  
年になるオカリナのサークルです。平  
年齢が65歳になりました。「はつらつ  
の言葉は似合わないのでは？」と思いま  
したが演奏中のメンバーの顔はなんと活  
活きと輝いていることか！「今、出来  
ことを大事に頑張ろう！」とイタリマ  
アメリカ、ブラジル、オーストラリア  
東北震災の地へ、そして11月には熊本  
行きます。府内、日本はもろろんのこ  
土から生まれた澄んだ優しい音色を届  
けています。出来るところまで楽しく頑  
ろう！を合言葉に。



お問い合わせ先 TEL 0771-26-5055  
090-5891-3346

\*入会はオカリナの基本的な演奏が出来る方  
ガレリアオカリナ演奏講座を受講された方  
年齢は問いません。

# 4. 第2回亀岡全国ふるさと連祭り新規登録実績

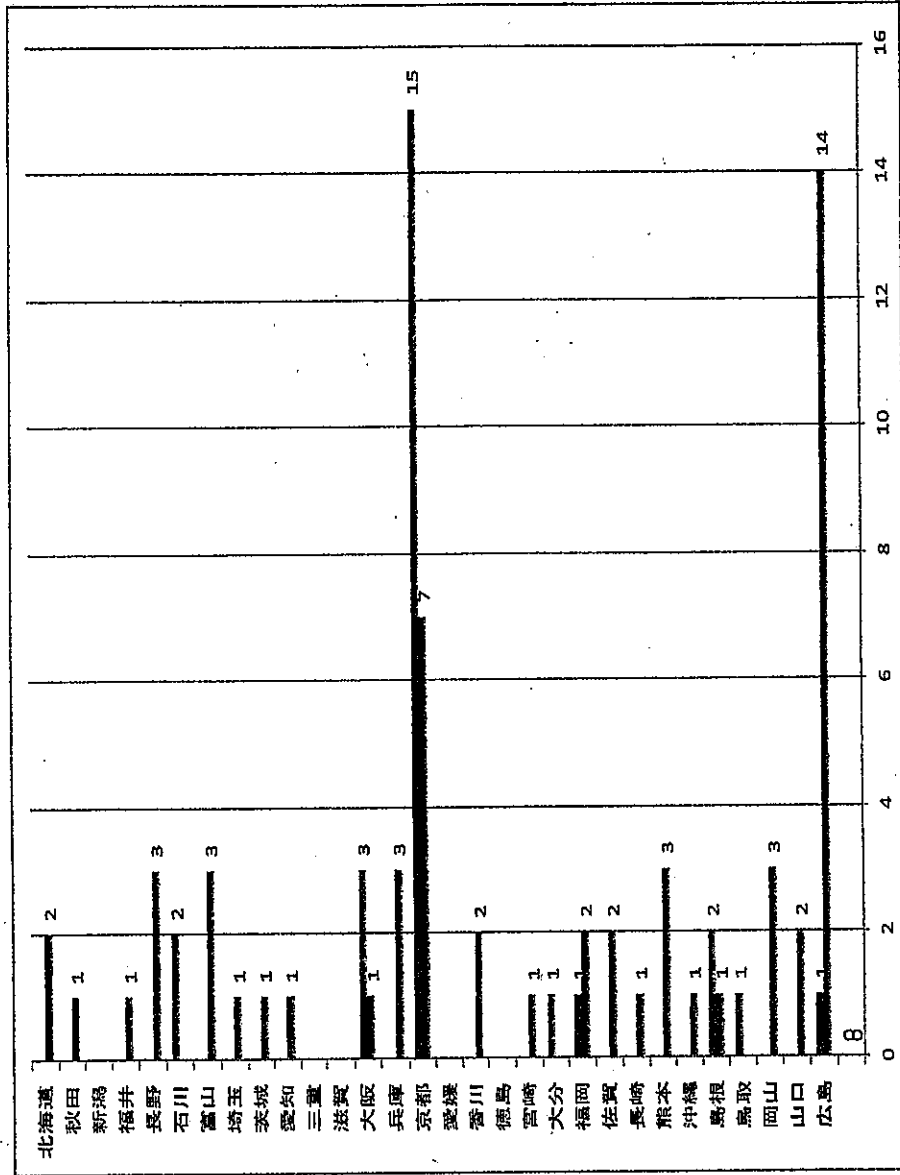
アンケート結果(登録OKのみ)  
名簿の5/当日の方

広島	14
山口	2
岡山	3
鳥取	1
島根	2
沖縄	1
熊本	3
長崎	1
佐賀	2
福岡	2
大分	1
宮崎	1
徳島	2
香川	2
愛媛	7
京都	15
兵庫	3
大阪	1
滋賀	3
三重	1
愛知	1
茨城	1
埼玉	1
東京	3
石川	2
長野	3
福井	1
新潟	1
秋田	2
北海道	56
計	26

会員出席率  
(56/210) 27%  
アンケート回答率  
(26/74) 35%  
※130-56=74人  
未登録者48名

総参加者数(130名)  
椅子手配数120席  
立ち見数 10人ぐらいと計算して130名

第2回亀岡全国ふるさと連祭り参加実績





# 事業報告書

団体名: 重利の山を守る会

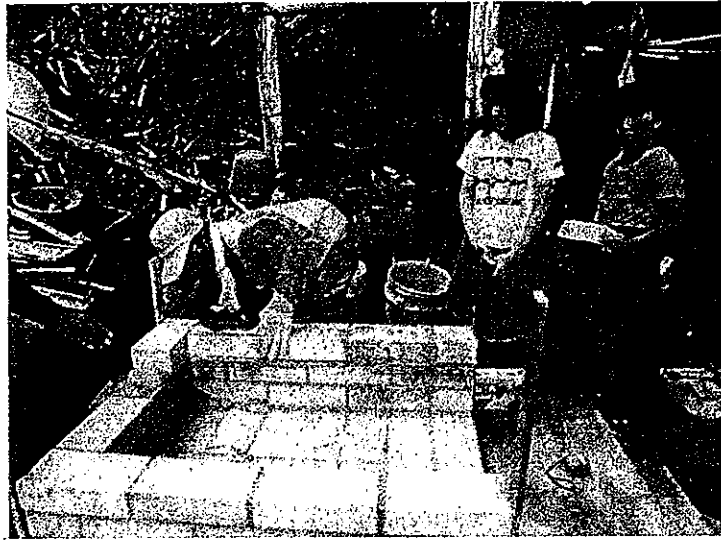
1. メニュー名	(1) スタート事業 (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業		
2. 事業名	「森林の保全と町の活性化」		
3. 実施場所	亀岡市曾我部町重利近隣の山林		
4. 実施期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日		
5. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール実、会場、内容、講師名、参加者、情報など)		
実施年月日	実施内容		参加人員
28年 4月 17日	住宅近くの傾いたスギの木2本伐採 下草刈り		10名
5月 22日	ピザ釜予定地の整備 スギ間伐		6名
6月 26日	住宅近くのクヌギの伐採 山の整備 遊歩道整備		7名
7月 8日	亀岡市交付金決定 事業名【森林の保全と町の活性化】		
8月 12日	地域再生プロジェクト交付金決定【京都府南丹振興局】		
9月 18日	ピザ釜設置用の整地、測量、小屋作り用のスギの伐採		14名
	25日	ピザ釜の基礎作り同時に小屋の基礎作り	9名
	28日	地域再生プロジェクト交付金決定【公益財団法人京都市町村振興協会】	
	28日	子供会にレンガを配布しイラストを書いてもらう	
10月 2日	子供達とレンガ積み、リレーで子供と一緒にレンガを運び上げる		大人5名 子供10名
	16日	ピザ釜完成(火入れテスト完了)	10名
11月 1日	京都新聞に「山の会の活動」が掲載されました		
	13日	ピザ釜完成パーティー(ピザ釜創りに協力して頂いた会員、子供会、業者の方、地域の役員等多くの方に参加で、美味しいピザで、楽しいひと時を過ごしました)	大人35名 子供15名
12月 4日	住宅近くのコナラの木3本伐採(薪ストーブ様に細かくし欲しい人に取りに来てもらいました)		12名
29年 1月 8日	自治会を通じ【わが町の花づくり推進事業】より交付金を頂き「緑花協会」よりツツジの苗を購入、山裾に植樹		10名
	2月 12日	山裾のコナラの木、桜の木伐採、山の整備	11名
	3月 11日	重利の山を守る会総会	30名
	12日	山裾のコナラの伐採、(しいたけの原木用にカット)	10名
	18日	椎茸菌を打ち込む、生育用の場所作り	8名

6. 成果	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>山の会が発足して2年目になります。住宅近くの倒木の危険のある木は、ほぼ伐採できました。昨年度から、伐採した木の処理の方法がないものかと思い、芝、薪で、消費するためピザ釜を皆で創りました。間伐材を有効に利用するためログハウス風の小屋も完成しました。スギの木でテーブル、ベンチ等も創りました。倒れていた木は階段、遊歩道の整備につかいました。山から出た木は山で消費する方法が見えてきました。</p> <p>ピザ釜を作る過程で多くの人たちの協力と支援を頂き、温かい気持ちになりました。子供達には、レンガでイラストを描いてもらい、リレーで山の上までレンガを運んでもらいました。レンガ積みにはプロの左官屋さんが小屋作りには、大工さんが、ボランティアで、また、ピザ釜の扉は鉄工所の社長が会の活動に賛同して頂き、格安で創って下さいました。</p> <p>11月13日には協力していただいた多くの方を御招きしてパーティーをし美味しいピザで楽しいひと時を過ごしました。大きな目標のピザ釜完成に向けて参加者の連帯と絆が一層大きくなった事を実感しました。</p> <p>山裾に、2年連続でツツジの苗木を植え、落石防止をし山ノ下を安全に守ります。何より山の裾にツツジの花で覆われるのを楽しみにしています。</p>	
7. 協働の効果	事業実施にあたって、多団体等と協働で実施された場合は、実施の効果や今後に向けての課題について、具体例などを交えながら記入してください。
8. 今後の展開	事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。
<p>当初の計画でふるさとの山を美しく蘇らせることは道半ばです。今後も、山の上まで整備し子供達が山で遊べるよう、丸太のすべり台ブランコ等遊具を作り間伐材でツリーハウスを創り、重利の里山の良さを知ってもらえる環境作りを目指します。ピザ釜を山の会で、創った事で地域の「絆」は、深まったことは実感しています。</p> <p>会員の多くの人々の要望で緊急避難時に「炊き出し」できるシステム、又最低限スマホの充電ができる電源設備等、を備えられたらと思っています。</p>	

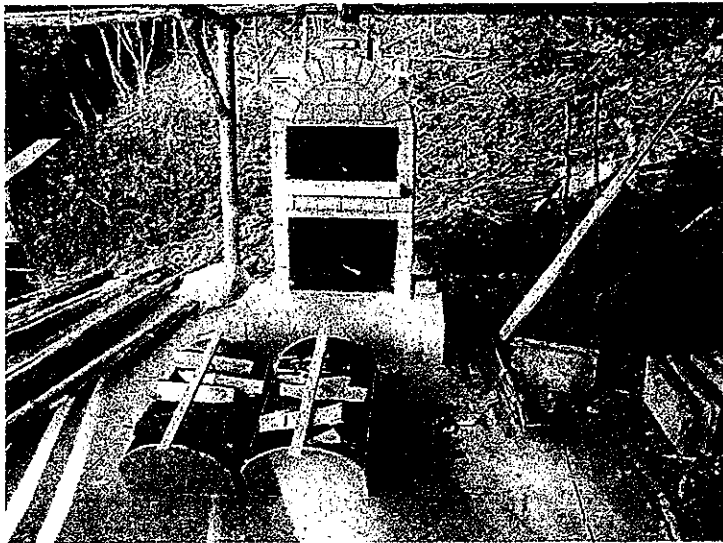
9月25日 基礎作り



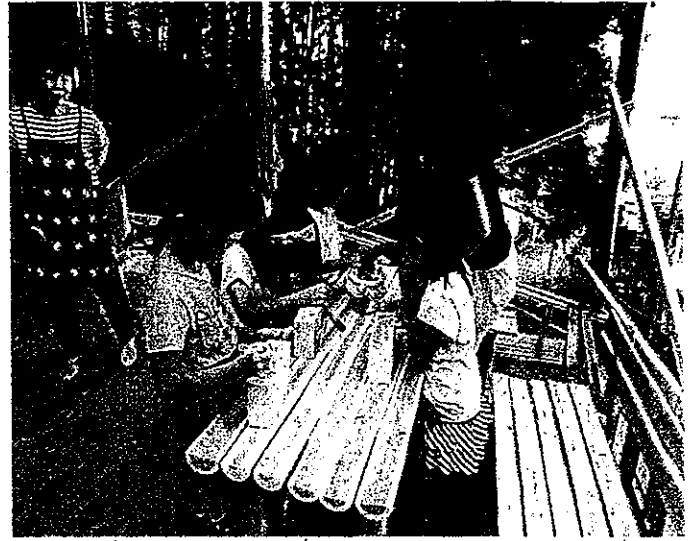
10月2日 レンガ積み



10月16日 ピザ釜完成



9月28日 レンガにイラスト描き



レンガリレー



11月13日ピザ釜完成パーティー



# 亀岡「重利山ノ下住宅」の住民ら

## 隣接の山手入れ 憩いの場に

### 高齢化も経験生かし テラスやピザ窯

丹波の  
ゲンバ



①重利の山を穿る谷が伐採して開いた斜面に手作りのテラス。カマエのように集える場  
 本町(左)と亀岡市曾我部町(右)の間に新たに完成したピザ窯の試験調理で焼き上がりは上々だった  
 ②住宅地を隣接する重利山道を通り、光が差すようになったスペースで子どもが遊ぶ

亀岡市曾我部町のかつての新興住宅街に隣接する山を、住民グループ「重利の山を守る会」が手入れしている。伐採した木を活用して斜面に「清水の舞台」のようなテラスを構え、新たにピザ窯も設けた。

「重利山ノ下住宅」は1970年代にベッドタウンとして山裾が造成され、京都市などから移り住んできた人たちが40世帯が二戸建て住宅に暮らす。山は戦後に植林された木が手入れされず近年は荒廃し、倒木などの危険が迫っていた。

昨年9月に発足した同会では、住民は山主の了解を得て、木を伐採したり、道をつけたりして、畳12枚スペースのテラスを組んだ。大勢の親子連れも加わり、レンガ数百個を搬入した。レンガを組んで窯は完成し、伐採した木を燃料にテスト調理したところ、上々

「カマエのように集える場も代が集まる場になりたい。災害時に炊きたしできる設備も整えたい」と長瀬さんは話す。

11月18日には福島の地域の火の任上がりだった。整備されたピザ窯を披露する。光や風が抜ける山道で子どもたちが遊ぶ。

会長は長瀬清海さん(68)で、入居時は働き盛りだったが、現在は多岐な仕事や趣味などの経験を重ねた人たちの集まりでもある。友禅職人だった長瀬さん

は趣味の木工の経験を生かして、大工や左官職のボランティアを依頼したり、道をつけたりも山の作業に専門の腕を生かしている。

(秋元太一)

# 事業報告書

団体名：先憂後楽みらい会

1. メニュー名	(1) スタート事業 (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	みらいのむらとまちづくりプロジェクト
3. 実施場所	亀岡市立人権福祉センター・亀岡市天川児童館
4. 実施期間	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日
5. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、情報など)

会長、副会長が中心となり各会員によって、知識や情報、文化的素材の収集を実施した。その内容を取りまとめ、亀岡市人権福祉センターにおいて9回の勉強会を実施し、今年度はこの勉強内容を広く周知するため、10月30日にシンポジウム「山と水、隼人こころの生態系シンポジウム」を開催し、このシンポジウムの内容をまとめた冊子「山と水、隼人こころの生態系シンポジウム」を発行しました。また、3年前から試験的に行ってきた環境計測器を設置し、データの収集を実施しました。

■月例勉強会

(1)日時：平成28年4月15日（金） 午後7時～9時  
場所：亀岡市立人権福祉センター  
内容：一年間の学習スケジュールについて。江戸期の丹波・京都の歴史を学ぶ。「水と緑のミニフィールド」のプラン化。  
講師：先憂後楽みらい会 副会長 杜 晃精さん  
参加人数：11名

(2)日時：平成28年5月20日（金） 午後7時～9時  
場所：亀岡市立人権福祉センター  
内容：『新修亀岡市史』資料編第1巻、丹波・桑田の分（神話～古代初期）までを検討。「水と緑のミニフィールド」報告。  
講師：先憂後楽みらい会 副会長 杜 晃精さん  
参加人数：9名

(3)日時：平成28年6月17日（金） 午後7時～9時  
場所：亀岡市立人権福祉センター  
内容：『新修亀岡市史』資料編、古代初期～古代中期までを検討。「佐伯遺跡、発掘へのかかわり報告」

講師：先憂後楽みらい会 副会長 杜 晃精さん

参加人数：11名

(4)日時：平成28年7月15日（金） 午後7時～9時

場所：亀岡市立人権福祉センター

内容：『新修亀岡市史』資料編、古代中期～古代末期までを検討。これまでのモノクロ・セピア色の歴史学説の整理。

講師：先憂後楽みらい会 副会長 杜 晃精さん

参加人数：17名

(5)日時：平成28年9月16日（金） 午後7時～9時

場所：亀岡市立人権福祉センター

内容：『新修亀岡市史』資料編、古代末期～中世までを検討。文学作品から歴史を見る報告。シンポジウム開催へ向けた打ち合わせ。

講師：先憂後楽みらい会 副会長 杜 晃精さん

参加人数：14名

(6)日時：平成28年11月18日（金） 午後7時～9時

場所：亀岡市立人権福祉センター

内容：『新修亀岡市史』資料編、中世・鎌倉を検討。少子高齢化問題の歴史的教訓。シンポジウム報告冊子出版への課題検討と作業分担。

講師：先憂後楽みらい会 副会長 杜 晃精さん

参加人数：13名

(7)日時：平成28年12月16日（金） 午後7時～9時

場所：亀岡市立人権福祉センター

内容：『新修亀岡市史』資料編、古代～中世の外国との関連と隼人・渡来人研究。上田正昭先生の業績研究。

講師：先憂後楽みらい会 副会長 杜 晃精さん

参加人数：15名

(8)日時：平成29年1月20日（金） 午後7時～9時

場所：亀岡市立人権福祉センター

内容：『新修亀岡市史』資料編、中世南北朝期資料検討、新旧「亀岡市憲章」の歴史研究

講師：先憂後楽みらい会 副会長 杜 晃精さん

参加人数：11名

(9)日時：平成29年2月17日(金) 午後7時～9時

場所：亀岡市立人権福祉センター

内容：ギャラリー「市民講座、明智光秀」の歴史と当時の庶民の生活歴史の比較研究。能楽の中に歴史を詠む(花重荷検討)

講師：先憂後楽みらい会 副会長 杜 晃精さん

参加人数：13名

■シンポジウム『山と水、隼人こころの生態系シンポジウム』

日時：平成28年10月30日(日) 午後1時～4時

場所：亀岡市立人権福祉センター

内容：講演「オーストラリア先住民アボリジニに学ぶ水の循環と心の生態系」

報告「よみがえる隼人の足跡をみつめ、新たな歴史とみらい」

講師：龍谷大学准教授 友永 雄吾さん、先憂後楽みらい会 副会長 杜 晃精さん

参加人数：46名

6. 成果

事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。

「高齢化」「少子化」の現中部(南桑中学校区)の現状、特に2000年以来、2015年までの変化と1970年、1985年などの15年間ずつの変化をデータで比較し、60歳以上人口、15歳未満人口の変化と旧小字(3つのケース)での生活相談ケースの類型化とその質について考え、歴史学習の平城初期(710～750)と平安初期(800～840)の2時代の歴史文献による記述・記録・データ、「万葉集」とそれ以降「古今集」の和歌を「文学の感覚の差」ではなく、時代を越えた「歴史」「社会」「家族」や「老」「若」に対する視線の差は何か。それがなぜ生じたのかを一部であれ、明らかにしてきました。

「先憂後楽みらい会」の活動にとどまらず、いくつかの地域の子育ての世代の方々や高齢者の方々とも交流・議論し、これまでの「私的」「自分のみの領域」の「家族観」では、この課題は矛盾の「緩和」はなしえても、「解決」しきれないものが残ります。

歴史上の経験からの「家族像」の変化が良きも悪きもありました。明治以来の近代家族観を開いて、自分や自分たちだけ家族・高齢者・年少者が存在しているのではなく、「拡大家族」とも言うべき、家族を取り巻く一回り大きな(旧隣組やサークル、見る、声の聞こえる)範囲での子育て、高齢者の見守り等、相互の「育てあい、育ちあい」を行うことこそが課題解決の方向性だということを見出し、交流・地域防災・環境保全活動等に参加して、人と人との輪を広げてきた次第です。

こうした中、「山と水、隼人こころの生態系シンポジウム」の開催および冊子の作成・配布。それを基に、ミニ集会、高齢化・少子化の歴史や現在の課題を深める交流が始まりました。また、「オーストラリア先住民アボリジニに学ぶ水の循環」を亀岡の前掲地域の河川と里山有利と対比させ、地域の自治体や共有林森林組合と学習会や水質保全の活動・災害対策活動の輪が拡大しました。

7. 協働の効果	<p>事業実施にあたって、他団体等と協働で実施された場合は、実施の効果や今後に向けての課題について、具体例などを交えながら具体的に記入してください。</p> <p>※市民連携事業に関わらず、他団体との協働があった場合は記入してください。</p>
<p>当会では、亀岡市・保育所・小中学校・高等学校、更には大学の教授と一緒に調査研究を実施してきました。また、NPOや地域の自治会とも連携しながら、シンポジウムの開催や冊子の作成を実施してきました。こうした中、地域でつながり明るい未来をともに作り上げていこうという目的のもと、各関係機関・団体からそれぞれの視線での意見をいただき、当会の活動がより活性化してきております。子どもたちや高齢者が、相互に育みあうような関係が生まれつつあり、今後こうしたつながりを大切に、少しずつでも広がって行くような取り組みを実施していきたいと考えています。</p> <p>また、環境保全是、昨年秋は山間の林道が災害のため荒れており、里山フィールドは子どもたちには困難であり、大人たち10名強で2度、10月に実施し、水源・水系の上部と山の植生、人工林から自然更生林へのシフト等についてフィールド出来ました。(森林組合、大阪産業大学等の研究チームと協力)</p>	
8. 今後の展開	<p>事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。</p>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域課題解決は初年(初期・古代・中世)の研究が終わり、古代の「高齢」貧富の差による「少子化」の当時の実態把握から、次年度、中世・近世の社会と現代の課題解決の道をテーマに研究を続けていきます。</li> <li>2. 水と環境は浄い水を利用したの“わさび田”などのアタックや、植林しない「天然更新」により、近代以前の里山への回路を探り、NPOや森林組合とともに、「焼き窯」「炭焼き」等に至るような環境保全と柔らかな生活への寄与の道筋を、水や緑を介して、地域諸団体、世代を越えた交流を図ります。</li> </ol>	

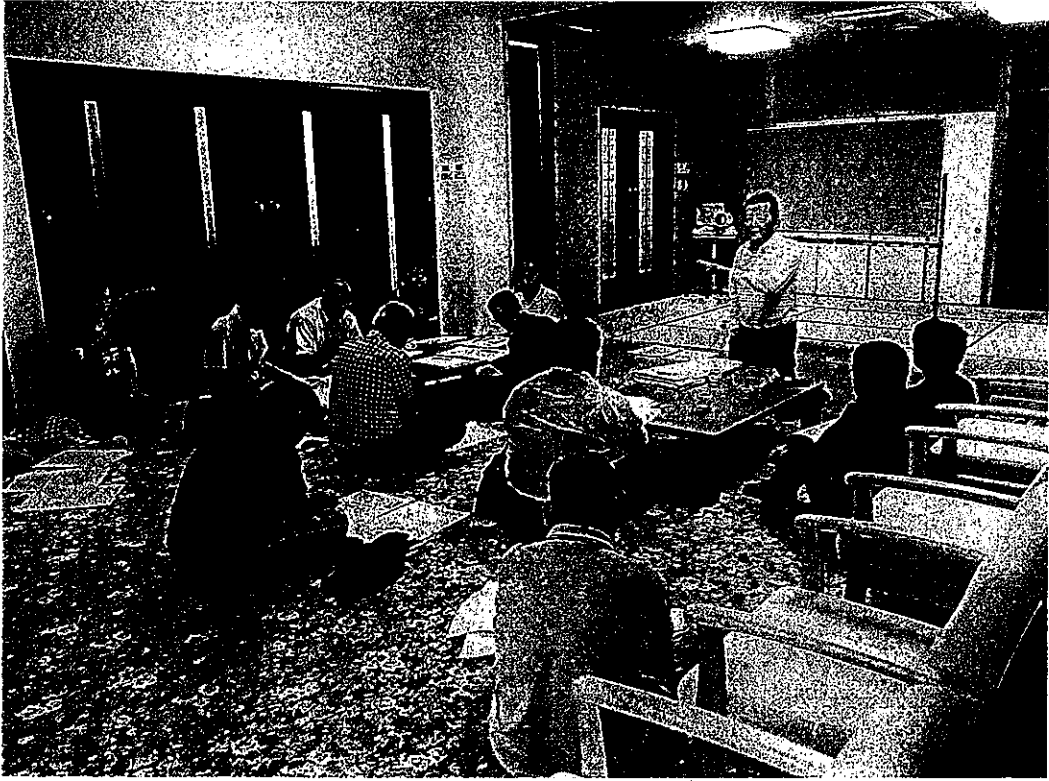
※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。





山と水、隼人こころの生態系シンポジウム (2016年10月30日)



月例勉強会 (2016年7月15日)



月例勉強会 (2016年11月18日)

## 森の京都

あら ともみぶんか かんきょう れきし しょうたい  
新たな共生文化・環境・歴史フィールドへの招待

せんゆうこうらく  
先憂後楽みらい会主催

やま みず はやと せいたいけい  
『山と水、隼人こころの生態系シンポジウム』

わたしたちの国の「たから」である豊かな自然環境と地域の多様な文化資源を見つめ直し、新たな共生の文化を未来世代へ継承するための気軽な寄り合いを開きます。

日時 2016年10月30日(日)

午後1時から午後4時まで

会場 亀岡市立人権福祉センター(ミルキーウェイ)

内容

講演 『オーストラリア先住民アボリジニに学ぶ水の循環とこころの生態系』

龍谷大学 准教授 友永 雄吾先生

報告 『よみがえる隼人の足跡をみつめ、新たな歴史とみらい』

新修亀岡市史 執筆委員 杜 晃精さん

フィールドワーク 『古代から近代へ隼人の歩み』(近隣地：予定)

問い合わせ 先憂後楽みらい会 代表 石田 道夫

携帯電話番号 090-8938-8694 気付 亀岡市天川児童館 23-2920

共催 龍谷大学 国際社会文化研究所

勉強会で意見を交わす会員たち。それぞれ好きな分野の歴史を掘り下げて研究している(亀岡市神田野町・市人権福祉センター)



# 京都新聞

7月23日

土曜日



京都新聞社

## 丹波



先妻後妻みらい会(亀岡市)

今年3月に亡くなった歴史学者の上田正昭氏が会の名付け親という。「学問は全ての人の愛いかなくなるまで続けなさい」との気概が込められている。毎月1回の勉強会では郷土史から世界史までを丹念に研究する。教科書には載らない歴史を学ぶのが狙いだ。

勉強会では、上田氏らとともに亀岡市史を執筆した副会長の経済学者杜晃精さん(69)「亀岡市曾我部町」が主に講師を務める。人権問題などにも積極的に取り組んだ上田氏に習い、差別の問題をテーマに取り上げることが多い。

「正しい歴史とは何か。自分で昔の文献や史料をひもとくとき、探究するのが面白い」。杜さんは学問の醍醐味をこの語る。今月15日の勉強会で

は、大学教授や小中学校の教諭、地元住民ら会員約30人が、自らの先祖のルーツをたどり、身分の移り変わりや時代背景などについて意見を交わした。

4月から参加している南桑中の社会科教諭北村拓洋さん(40)「同市篠町」は「明治以降の民衆の暮らしぶりに興味がある。毎回新たな知識を得られるのは教師として貴重な機会」と話す。

他の会員たちも、飛鳥時代以前の建築物に着目し、当時の設計技法に想像を膨らませたり、部落差別の起源を調べ上げた

## 教科書にはない歴史研究

今秋以降は、亀岡市内の石碑などを巡るフィールドワークや小学校での出前授業、上田氏の功績を振り返るシンポジウムを催す計画だ。

会長の石田道夫さん(66)「同市曾我部町」は「各自が興味のある分野を徹底的に調べ、歴史の楽しさに触れてみてほしい」と話している。(森大樹)

先妻後妻みらい会 2014年4月結成。会員は20〜80代の30人。勉強会は毎月第3金曜日の午後7時から亀岡市神田野町の市人権福祉センターにて。入会時にデキスト代など3千円が必要。石田会長の携帯電話090(888888)88094。

# 事業報告書

団体名：亀岡市遺族会女性部

1. メニュー名	(1) スタート事業 ○ (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	戦後70年 平和の尊さ祈念し 千羽鶴おりとDVD制作
3. 実施場所	市役所市民ホール、ルビノ京都堀川、かめおか市民活動推進センター 自治会事務所(曾我部・千歳・東別院町自治会館)、 総合福祉センター内遺族会事務室 京都府遺族会館
4. 実施期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
5. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、情報など)
<p>千羽鶴おり 4/14 市役所会議室 5/10 市民ホール 6/15・6/22 7/12 9/7 11/25 かめおか市民活動推進センター 女性部役員各自自宅等でも千羽鶴おり 近所の高齢女性などもご協力くださる</p> <p>DVD制作 4月～8月</p> <p>DVD寄贈 8月～10月 京都府遺族会、京都府総合資料館 亀岡市教育委員会を通じ、各小学校・中学校へ、 自治防災課から自治委員会を通じ、各町自治会へ 直接文化資料館、図書館へ 亀岡市遺族会各町会長に その他遺族会役員から友人・知人に 亀岡市遺族会女性部各町女性部長に</p> <p>DVD上映 5月～3月 5/10 市民ホール 於 亀岡市遺族会総会時 40名 6/22 かめおか市民活動推進センター於 研修会議時 12名 6/27 ルビノ京都堀川 於 京都府遺族会女性部総会時 100名 2017/1/21 曾我部町自治会館 於 曾我部町役員会時 10名 2017/1/29 千歳町自治会館内ちとせさわやか健康センター於 役員会時 8名 2017/3/20 東別院町自治会館 於 東別院町遺族会慰霊祭後総会時 20名</p>	

6. 成果	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>平和の大切さを再認識しあった</p> <p>戦後 71 年、遺族の家庭でさえ、戦争の記憶が風化されている状況です。</p> <p>戦争を知らない、経験のない世代が多勢になりつつあります。</p> <p>記憶の風化著しく、そのような中、戦争で大切な大黒柱であるご主人を亡くされた女性の貴重な言葉やお姿を映像に収録した DVD 制作は、それを見る人のこころを強くうちます。</p> <p>寄贈先での上映も少しずつ進んでいます。</p>	
7. 協働の効果	事業実施にあたって、他団体等と協働で実施された場合は、実施の効果や今後に向けての課題について、具体例などを交えながら具体的に記入してください。 ※市民連携事業に関わらず、他団体との協働があった場合は記入してください。
<p>かめおか市民活動推進センターでの講座等で上映しようと今後働きかけています。</p>	
8. 今後の展開	事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。
<p>寄贈先での上映に期待しつつ、その後の状況もチェックしたいと考えています。</p> <p>親会である亀岡市遺族会からの資金の支援は、会の財源からも期待不可になり、人的支援を得られるのみとなりました。女性部役員で創意工夫し今後にはばたきます。</p> <p>よろしくおねがいたします。</p>	

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

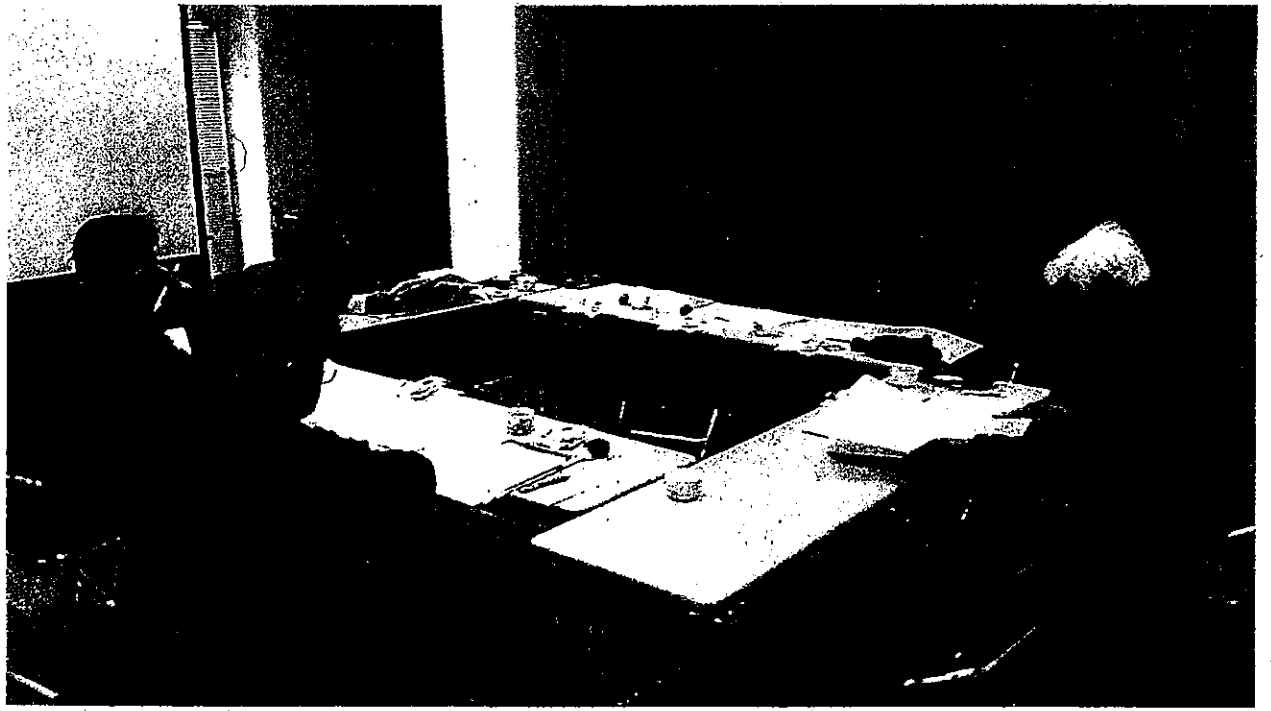


## 曾我部町遺族会役員会

曾我部町公民館 平成29年1月21日



「遺族の証言～戦後70年 平和の尊さを祈念」の上映(遺族会女性部製作)



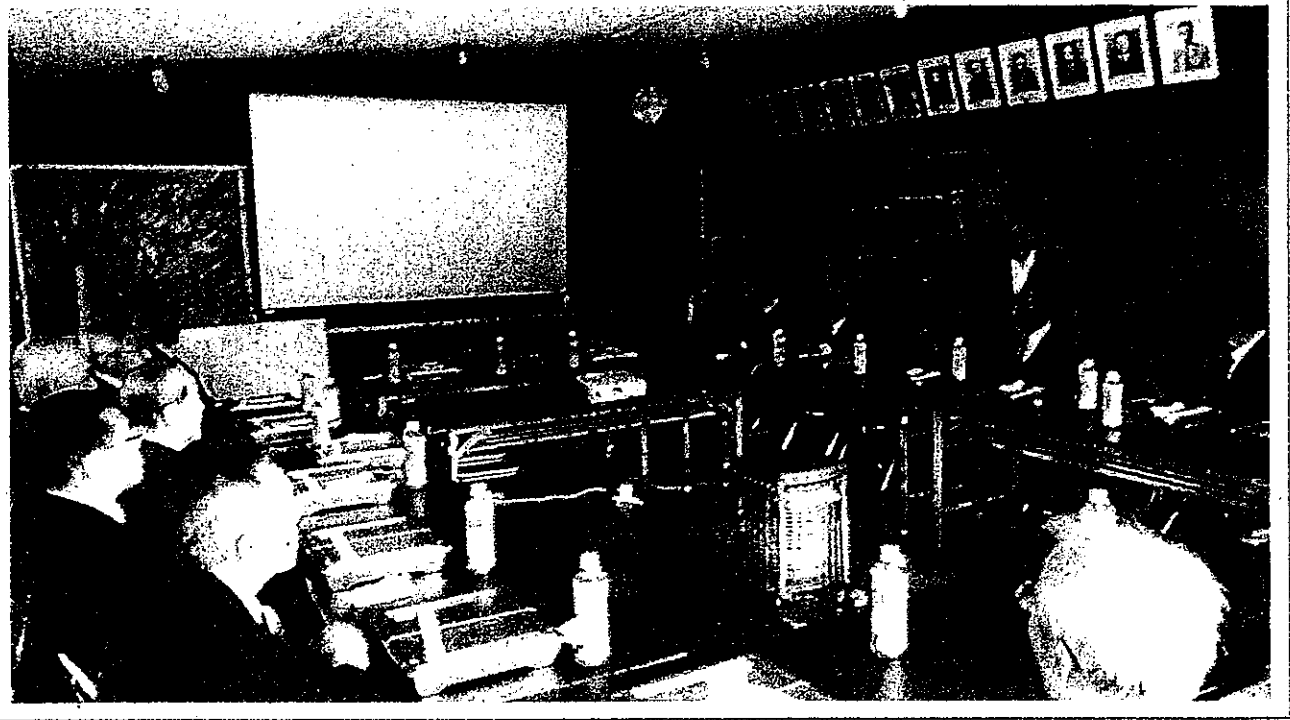
## 千歳町遺族会役員会

千歳町公民館 平成29年1月29日



「遺族の証言～戦後70年 平和の尊さを祈念」の上映（遺族会女性部製作）





## 東別院町遺族会役員会

東別院公民館 平成29年3月20日



「遺族の証言～戦後70年 平和の尊さを祈念」の上映(遺族会女性部製作)



# 事業報告書

団体名： 自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会

1. メニュー名	(1) スタート事業 (2) <b>ステップアップ事業</b> (3) 市民連携事業
2. 事業名	地域の資源再発見～おらがまち・むらのすごいところ大発見～
3. 実施場所	第三かめおか作業所、亀岡市立人権福祉センター、保津文化センター等
4. 実施期間	平成28年7月10日 ～ 平成29年3月18日
5. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、情報など)

◇7月30日(土) 午後1時半～午後4時半 場所 第三かめおか作業所 参加者：35名  
自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会 二周年記念フォーラム  
基調講演 「これからのコトおこし ～新たな地場産業をつくろう～」  
ゲスト講師 立命館大学産業社会学部 教授 景井充

◇8月31日(水) 午後6時～午後8時 場所：亀岡市立人権福祉センター 参加者：32名  
第14回 おらがまち・むらのすごいところ大発見～宮前町神前 NPO法人チョロギ村  
村長森隆治さんのお話～  
ゲスト講師：NPO法人 チョロギ村 村長 森隆治

◇10月15日(土)～16日(日) 竹岡醤油 第三回秋の蔵祭り  
◇10月16日(日) ハートフェスタ2016出展  
◇10月22日(土)～23日(日) 亀岡神前 チョロギ村オープニング出展  
◇10月31日(月) 午後6時～午後8時 場所：第三かめおか作業所  
第15回 おらがまち・むらのすごいところ大発見 ～教育体験旅行・農業体験事業等に取り組む  
京都丹波・食と森の交流協議会 廣瀬孝人専務理事のお話～  
ゲスト講師：一般社団法人京都丹波・食と森の交流協議会 専務理事 廣瀬孝人

◇11月12日(土) 蔞田野町人権フェスティバル出展  
◇11月13日(日) 犬甘野秋の味覚フェスティバル・宮前町フェスティバル・保津町文化祭出店  
10月～11月 各地に販売会に出展

◇12月19日(月) 午後6時～午後8時 場所：第三かめおか作業所 参加者：28名  
第16回 おらがまち・むらのすごいところ大発見～日本中の田舎に「野人」を増やす！ 京都美山  
野生復帰計画 青田真樹代表取締役のお話～  
ゲスト講師：(株)野生復帰計画 代表取締役 青田真樹

◇3月17日(金) 午後7時半～午後9時半 場所: 亀岡市立人権福祉センター 参加者: 35名  
 第17回おらがまち・むらのすごいところ大発見 イン蔦田野町 ～地域づくりからコミュニティビジネスへ 秋津野ガルデンの取り組み～  
 ゲスト講師 農業法人株式会社秋津野 木村則夫 代表取締役専務

◇3月18日(土) 午前10時～正午 場所: 保津文化センター 参加者: 27名  
 保津町まちづくり講演会(第18回おらがまち・むらのすごいところ大発見)  
 ゲスト講師 農業法人株式会社秋津野 木村則夫 代表取締役専務  
 保津町のまちづくり調査中間報告(NPO法人ふるさと保津)

6. 成果

事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。

自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会は、亀岡地域の自然を守る等の中山間地特有の課題を障害ある人たちの仕事づくりを通して解決することが出来ないかとの思いから、地元自治会の宮前町・蔦田野町・保津町、そしてふるさと保津、(株)竹岡醤油等の方々共に設立した。亀岡地域の中山間地では、高齢化による農業や林業の担い手不足、耕作放棄地の増加、鹿や猪の鳥獣被害等の多くの課題があり、今後ますます私たちの生活に直接関わってくるのが予想される。その課題を障害のある人たちの新たな仕事おこしへ繋げ、鹿の佃煮等の商品開発から、小さな経済を動かし地域活性化へ進めていこうと計画している。地域協議会で設立から特に力を入れたのが、「住民の創造性の発揮」である。亀岡地域に暮らす私たちは、その地域の専門家である。しかし亀岡地域に暮らす私たち専門家は、あれがない、これもない」とないもの探しは得意でも、地域の「良いところ・すごいところ」を見つけることは不得手である。おらがまち・むらのすごいところ大発見の企画では、住民が創造性を発揮して地域活性化に取り組むことで生きがいを見出し、自分たちが住んでいる亀岡に「すごいところ」をたくさん見つけていこう。そして地域資源を再発見した「すごい人たち」とネットワークを組む、亀岡の地域活性化に繋げていこうと計18回企画を継続してきた。具体的には亀岡や南丹地域に暮らす地域住民が、ちょっとした工夫とアイデアを凝らし楽しく活動する様子を報告していただき、地域住民と共に議論を重ねてきた。宮前町神前のチョロギ村の取り組み、南丹市での農家民泊の取り組みなどは住民の協働が大きな夢や生きがいを生んでいく、たくさんのヒントと示唆を頂いた報告が多くあった。どの地域でもまた誰でも、「みんなと協力したら、楽しい活動が出来るのではないか。地域が活性化するのではないか、と自信が芽生えてきた。3月には、和歌山県田辺市秋津野ガルデンの約10年に及ぶ「地域づくりからコミュニティビジネスへ」をテーマにその挑戦の様子を学ぼうと企画した。初めて亀岡・南丹地域以外のゲスト講師であり、全国的にも先進事例である秋津野ガルデンでは、自分たちの取り組みに引き寄せられるかどうか不安もあった。しかし当日の講演で強調されたのは、田辺市の秋津野ガルデンも小さな地域づくりから積み上げてきた。住民自治組織、公民館活動、地域資源の発掘、地域行事の運営等々。地域づくりという根っこは太く、細根は多く、根域が広いほどコミュニティビジネスの樹は大きくなり、実りも多くなる。そして根を枯らさないためには、水や栄養(活動)をやり続ける必要があること等が、ゲスト講師から強調され

た。地域ごとで根の張り方が違うが、私たちの実情に照らして活動を進めていくことが大切だと改めて学ぶことが出来た。特に共催した保津町の取り組みには、ゲスト講師から一定の評価を頂き、自信とこれまでの活動に確信がもてたと多くの方々から感想が寄せられた。

7. 協働の効果	事業実施にあたって、他団体等と協働で実施された場合は、実施の効果や今後に向けての課題について、具体例などを交えながら具体的に記入してください。 ※市民連携事業に関わらず、他団体との協働があった場合は記入してください。
----------	---

～自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会の加盟団体内ならびに新たな繋がりのおかげ、平成28年度特徴的な報告について～

①宮前町神前 チョロギ村との連携

おらがまち・むらのすごいところのゲスト講師以来、連携を続けている。10月からのチョロギ村のオープニングイベントも参加し、今後とも地域住民と一体となったチョロギ村の取り組みには多くの学びがあった。このチョロギ村の取り組みを「亀岡のすごいところ」として、一層市内市外へ発信をしている。

②一般社団法人京都丹波・食と森の交流協議会との連携

農家民泊はじめ、食と森の交流協議会とも連携を進めてきた。亀岡地域では農家民泊の活動がまだまだ知られていない状態でもあり、発信をどんどんと行い今後とも交流を続けていきたいと思う。

③NPO法人ふるさと保津・保津町との保津藍栽培の取り組み

保津町で進められている保津藍の栽培取り組みに、平成28年度から亀岡福祉会も参画している。この保津藍は戦前の京都品種の子孫から藍を栽培し、ほづあい研修所が服飾や小物に藍を染め込んでいる。平成29年度もふるさと保津・ほづあい研修所・保津町に、同じ地域協議会メンバーである亀岡福祉会も一緒にその活動に継続して加わる予定である。

④竹岡醤油蔵まつりへの運営協力（平成28年度で3年目）

⑤蒔田野町、宮前町、保津町の各種イベント等には加盟団体として、亀岡福祉会が起点となりお互いに運営協力を実施してきた。

8. 今後の展開	事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。
----------	--

平成29年度以降は、この地域協議会の設立趣旨でもある高齢化による農業や林業の担い手不足、耕作放棄地の増加、鹿や猪の鳥獣被害などのたくさんの課題を、障害のある人たちの新たな仕事おこしに繋げていく。鹿の佃煮等の商品開発を継続しながら、小さな経済を動かし地域活性化への取り組みを更に進めていく。

次に成果のところと重複するが、私たちの活動の基本は小さな地域づくりからの積み上げを継続し、特に地域資源の再発見や地域の暮らしの誇りをこのおらがまち・むらのすごいところ大発見として企画してきた。さらに継続し、亀岡地域の根っこを太く、細根は多く、根を張る地域を広げることをしっかりと肝に銘じ、根を枯らさないためにも、地道な活動をやり続けていく。

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

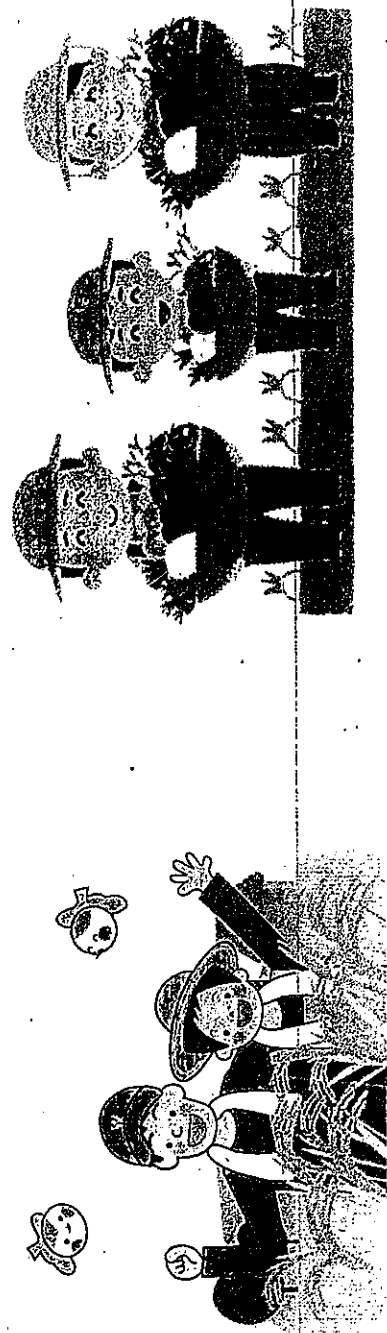
第15回 10.31 おらがまち・むらのすこいところ大発見

～教育体験旅行・農業体験事業等に取り組み 一般社団法人京都丹波・

食と森の交流協議会 廣瀬孝人専務理事のお話～

農村民泊などの教育体験旅行を柱とした都市・農村交流の活動に取り組んでいる、京都丹波・食と森の交流協議会です。京都丹波フラインドの全国への発信、地域の活性化や交流定住人口の拡大への活動を展開中です。今年4月からは一般社団法人への組織体制も変更し、精力的な活動を続けられている廣瀬専務理事のお話から、共に学び合いたいと思います。

尚、この事業は亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付事業として取り組んでいます。



とき：10月31日（月）午後6時～午後8時

場所：第三かめおか作業所（亀岡市保津町上火無 28-86）

講師：一般社団法人 京都丹波・食と森の交流協議会 廣瀬孝人専務理事

お問い合わせ先：事務局 亀岡市薄田野町佐伯大門 30-1 かめおか作業所内 24-2596

# 第17回・第18回おらがまち・むらのすごいところ大発見

～地域づくりからコミュニティビジネスへ！ 秋津野ガルドレンの取り組み～

農業法人株式会社秋津野 木村 則夫 代表取締役専務のお話

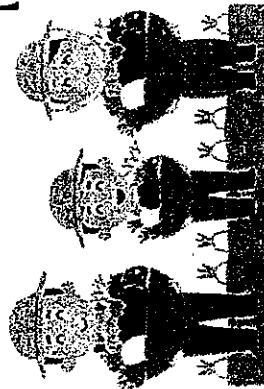
秋津野ガルドレン（和歌山県田辺市）は、地域住民が出資し経営する都市と農村の交流を目指すグリーンツーリズム施設です。旧小学校の跡地で、地元のお母さん方がつくるバイキング料理の農家レストランと宿泊施設、お菓子体験工房、みかん作りの歴史を紐解いたみかん資料館等、コミュニティビジネスの場として運営されてきました。現在は田辺地域の農業・商業等と連携し、地域住民自らの地域づくりの取り組みが、地域全体に変化をもたらしました。この秋津野ガルドレンの取り組みを学び、亀岡での地域づくりを考えたいと企画いたしました。17日（ミルキーウェイ）・18日（保津文化センター）と同じ内容で2回開催いたします。どなた様でもお気軽にご参加ください。

どなた様でもお気軽にご参加ください！

日時と場所 〔第17回〕 3月17日（金）午後7時30分

亀岡市立人権福祉センター（ミルキーウェイ）

〔第18回〕 3月18日（土）午前10時 保津文化センター



講師：農業法人株式会社秋津野 木村 則夫 代表取締役専務

主催：自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会 かめおか作業所内 24-2596

